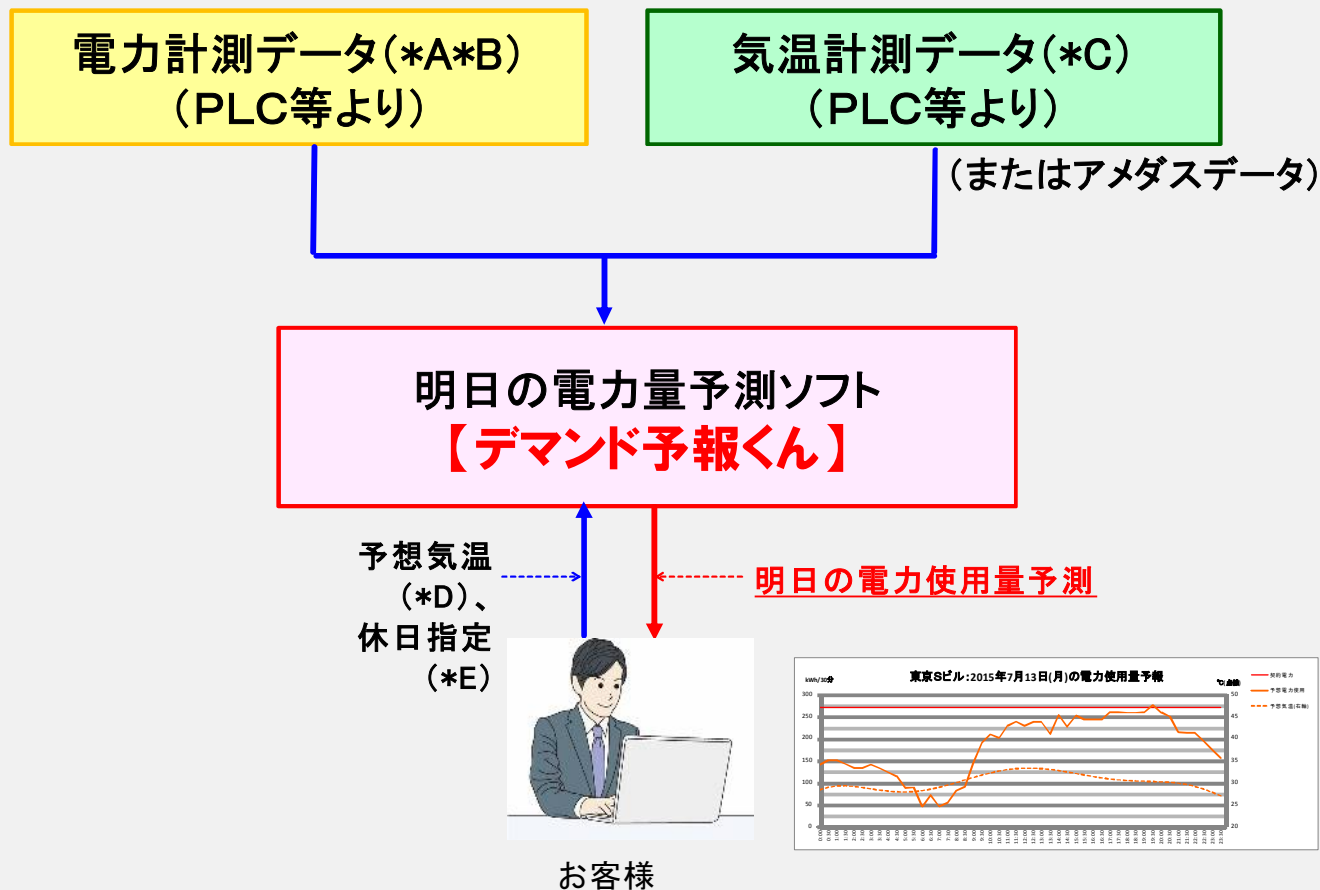


【デマンド予報くん】

明日の電力量予測ソフト

「デマンド予報くん」は、過去の電力使用量・気温と明日の予想気温から、明日の30分毎の電力使用量を予測・表示します。



- * A : 30分毎の電力使用量実績(過去4週間分)
- * B : 毎月の電力使用量実績(過去1年分)
- * C : 30分毎のその地域の気温実績(アメダスデータ自動ダウンロード機能有)
- * D : 明日の毎時予想気温(3時間ごとの予想気温を1時間ごとの値に補間機能有)
- * E : 休日指定(正月、5月GW、お盆、祭日、会社等の特別休日・特別勤務日)

< 導入の効果 >

オフィスビルなど高圧受電されている電力需要家の電気料金の削減に活用いただけます。

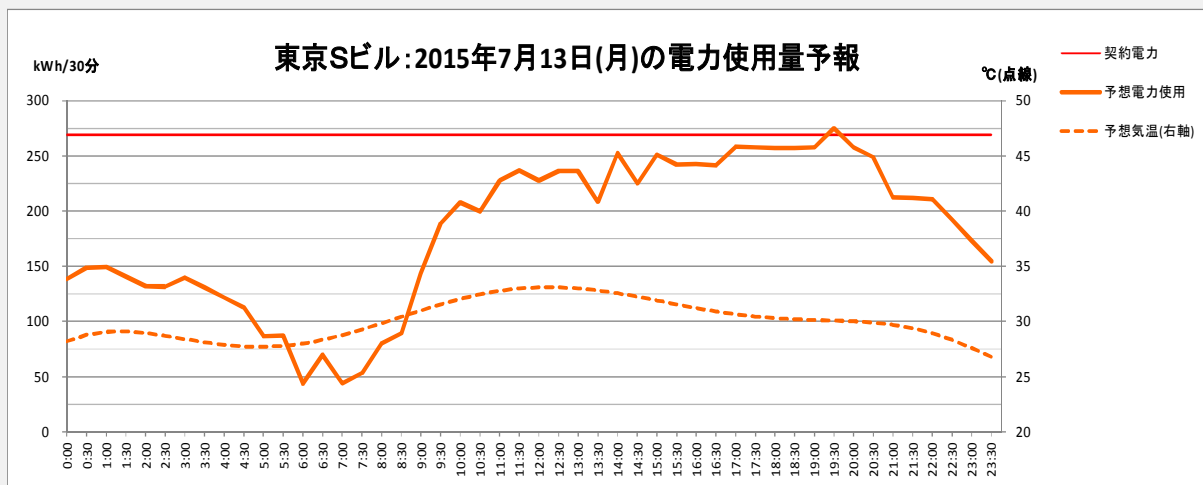
◎契約電力オーバーが予想されるときに事前対策！

事前対策の例：

- ・エアコンの設定温度アップ
- ・不急機器を停止
- ・イベントが予定されているときは開催時刻を変更
- ・新電力(PPS)から買電

◎平常の節電対策に活用

< 東京Sビルの電力使用量予報例 >



< 予報エンジンについて >

【電力使用量の予測手法】

過去4週間分の30分毎の電力使用量と気温実績から、電力使用量の関数を求めます。
(重回帰分析)

この関数と明日の予想気温を使って、明日の30分毎の予測電力使用量を算出します。

電力使用量 = f(月、曜日、時間帯、気温、真夏日連続) f: 関数

曜日 : (月) ~ (土) (日)。休日は(日)と扱う。

時間帯 : 30分毎。48時間帯/日

気温 : 30分毎。48時間帯/日。気温に関するfは2次関数。

真夏日連続 : 9時~18時の平均気温が32.0°Cを超える平日の連続日数。

(真夏日が3日以上連続すると電力使用量が増えることが多いことを考慮)

【明日の予想気温】

・毎時の気温が入手できない場合、3時間毎の気温でも可能。気温のない時間帯は前後の気温から補間します。

【その他】

- ・予想気温があれば、明後日、3日先(明々後日)の予報も可能です。
- ・当日になって予想気温が変更になった時、電力使用量の再計算が可能です。(当日予報変更)

※『予報エンジン(ソフトウェア)』のパッケージ販売にも対応します。